

# はじめに

グローバル化やA Iなどの技術革新が急速に進み、また今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生活や学びのスタイルが大きく変化しています。こうした中、子供たちには予測困難なこれからの時代を生き抜いていくために、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められます。学校での学びを通じ、子供たちがそのような「生きる力」を育むために、新学習指導要領が小学校では2020年度に、中学校では2021年度に全面実施されました。そして2022年度から高等学校において年次進行で実施されています。

学習指導要領では、これからの時代に求められる資質・能力を全ての教科等において①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等の三つの柱で再整理し、バランスよく育成することとしています。また、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めることや、各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立により組織的・計画的に教育活動の質を向上させること、資質・能力の三つの柱に対応した三つの観点に基づき学習評価を改善することを求めています。さらに、資質・能力を着実に身に付けさせるためには、ICTを最大限活用しながら、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実が図られることも求められています。

愛知県総合教育センターでは、このような課題に応えるべく、教育に関する専門的・技術的事項の研究、教育関係職員への研修、教育相談、教育に関する情報収集・提供及び農業教育に関する生徒実習指導などを、学校や教育委員会と連携しながら推進しております。特に、今年度の当センター研究発表会では、「資質・能力の育成を目指した学びの在り方(2年次)」というテーマを掲げ、「学校教育目標を実現するための社会に開かれた教育課程の在り方に関する研究」「これからの時代に求められる資質・能力を育む学びの在り方に関する研究」「新学習指導要領を踏まえた学習評価の在り方に関する研究」「通級による指導の充実に関する研究」「県立高等学校教育課程課題研究(国語)」「県立高等学校教育課程課題研究(情報)」についての研究成果を発表いたしました。

この研究紀要には、令和4年度教育研究調査事業から6件の研究を取り上げ、その研究成果を収録しております。本研究紀要が、学校での教育研究、教育実践、研修等の一助となれば幸甚です。本研究紀要は、当センターのウェブページに掲載します。ウェブページには、過去の研究成果や各教科の研究成果を教材コンテンツとして提供しておりますので、併せて御活用ください。

最後になりましたが、この研究紀要を刊行するに当たり、教育研究調査事業に多大なる御協力をいただきました関係者の方々に心から感謝の意を表しますとともに、皆様の忌憚のない御意見、御助言を当センターにお寄せくださいますようお願い申し上げます。

令和5年3月

愛知県総合教育センター  
所長 加藤 文彦